

SDGs

コミュニケーション  
ブック 2024

リコージャパン株式会社

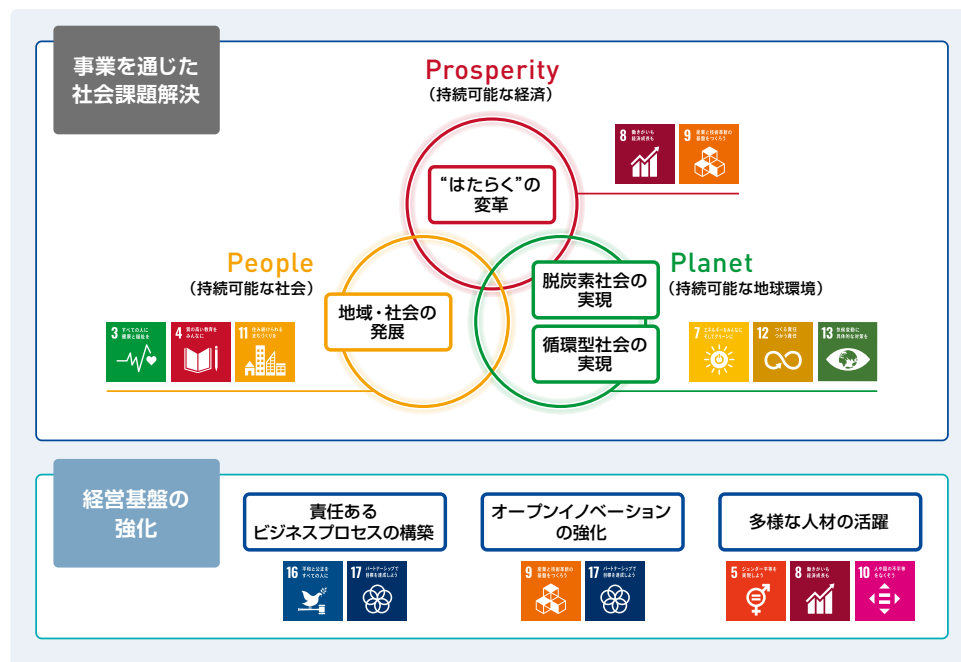
**RICOH**  
imagine. change.



# マテリアリティとサステナビリティ目標

リコージャパンでは、リコーグループが「将来財務目標」として設定する第21次中期経営戦略（2023～2025年度）のESG目標を踏まえて、マテリアリティに沿った17のサステナビリティ目標を設定しました。目標設定にあたっては、経営戦略、事業戦略に紐づけて、各部門とサステナビリティ推進部門で素案を作成し、経営会議での審議を経て決定しています。

## リコーグループの7つのマテリアリティ



## 社会貢献の重点分野



マテリアリティ	リコージャパンとして目指す貢献	リコージャパンのサステナビリティ指標	2023年度目標	2023年度実績	2024年度目標
"はたらく"の変革	人とデジタルの力で、誰にでも働きやすい環境を作り、お客様の生産性向上・価値創造に貢献する	① 顧客からの評価：価値共創パートナー度	26%	26.3%	27.0%
		② 貢献するワークプレイス数	14万カ所	15.4万カ所	16.7万カ所
		③ 時間創出効果	5,830万時間	5,672万時間	6,170万時間
地域・社会の発展	人とデジタルの力で、地域・社会システム（医療・教育・地域づくり）の維持発展・効率化に貢献する	④ 生活基盤向上貢献人数	1,390万人	1,794万人	1,800万人
脱炭素社会の実現	省エネ製品・脱炭素ソリューションで、お客様の脱炭素に貢献する	⑤ 製品・サービスによるCO <sub>2</sub> 削減量	17,100t	22,946t	28,800t
循環型社会の実現	サーキュラーエコノミー型ビジネスで、お客様の資源削減に貢献する	⑥ 主要複合機および再生機による新規資源削減量	2,400t	2,262t	2,326t
脱炭素社会の実現	自社の電力・ガソリン使用によるCO <sub>2</sub> 排出量を削減する	⑦ 自社のCO <sub>2</sub> 排出量（2015年度比CO <sub>2</sub> 排出削減率）	21,700t (▲31.4%)	20,948t (▲33.8%)	21,000t (▲33.6%)
責任あるビジネスプロセスの構築	サプライチェーン全体を俯瞰して、ビジネスプロセスのESGリスク最小化を図り、公正な社会に貢献する	⑧ 人権影響評価のスコア向上	人権リスクレベルの把握	人権リスクレベル把握完了 セルフアセスメントスコア 91点	セルフアセスメントスコア 95点
		⑨ 仕入先パートナー行動規範署名率	100% (既存)	93.3% (既存)	100% (新規)
		⑩ 社員の情報セキュリティ意識の向上（ローリスク率）	意識レベルの把握	把握完了 4.6%	4.5%
		⑪ 低コンプライアンスリスク組織比率	80%以上	83%	80%以上
		⑫ コンプライアンス感度DI <sup>*1</sup> のネガティブ回答組織割合	40%以下	49%	40%以下
		⑬ 印刷事業者の経営課題解決に取り組む共創活動をプロジェクトで創出した件数	6件	6件	8件
オープンイノベーションの強化	社会課題解決型事業を迅速に生み出すために、パートナーシップを強化する	⑬	6件	6件	8件
多様な人材の活躍	デジタルサービスを提供する会社として、すべての社員が尊重され、能力が発揮できる企業文化を育む	⑭ プロフェッショナル認定レベル3以上社員数	7,900名*2	8,204名	9,400名
		⑮ 社員一人あたりの学習時間	80時間	80.5時間	80時間
		⑯ 社員エンゲージメントスコア	35	33.7	37
		⑰ 女性管理職比率	7.2%	7.9%	8.0%
		⑰	7.2%	7.9%	8.0%

\*1 DI: ディフュージョン・インデックスの略。ポジティブからネガティブを引いた数値

\*2 制度の見直しにより、目標値の変更を実施

# リコージャパンの SDGsアクション

リコージャパンはSDGsを社内に浸透させ、社外にも広める活動を展開してきました。  
ステークホルダーの皆様とともに、SDGsの達成に向けて歩みを進めていきます。

START!

2016

## SDGsを勉強会で説明

CSR報告書をベースにした勉強会を実施。2年間で延べ1万人が受講。

2017

## リコーがマテリアリティを発表 (重要社会課題)

重要社会課題をSDGsに紐づけて設定。



2018

## SDGsキーパーソンが誕生

社内外にSDGsの取り組みを推進するSDGsキーパーソン制度がスタート。2024年6月には730名に。



2018

## 経営トップのコミットメント

リコー山下社長(当時)がSDGsを経営の中心に据えることを宣言。

2018

## SDGs強化月間

全社員でSDGsへの貢献を実践する強化月間を開始。

2020

## SDGsと経営の同軸化をスタート (マングローブ植林活動)

省エネ性能の高い複合機をお客様に導入いただくごとに、東南アジアに1本植林。2024年3月で累計42万本にのびります。



2021

## サステナビリティ目標の設定

リコーグループが掲げるマテリアリティをもとに、リコージャパンとして取り組むべき目標を定めました。



2023

## 第21次中期経営戦略

中期経営戦略に沿って、サステナビリティ目標を改定し、取り組みを進めています。

2030

## SDGsのゴール



## SDGs キーパーソンの活動

リコージャパンでは全国の支社・部門にいる約730名のSDGsキーパーソンが活動しています。社内へのSDGs/ESGの浸透・啓発・活動推進や、お客様のSDGsへの貢献、ESGの取り組みを支援しています。

### 営業活動に生きる SDGsアプローチ (京都支社)

財務営業のSDGsキーパーソンとして、製品・サービスを通じてお客様とSDGsへの取り組みを進めています。SDGs視点でのご提案アプローチは、お客様から経営課題と一緒に取り組むパートナーとして認知いただけます。1社では限界のある取り組みもパートナーの輪を広げることで実現する、そんな想いで立ち上がった「Teamサステナビリティ京都」にはさまざまなパートナーが参加され、一緒にSDGsと京都活性化の同時実現を目指しています。



「Teamサステナビリティ京都」は、講演やワークショップを通して、産官学のさまざまなパートナーと情報共有を行い、サステナブルな活動を推進



デジタルサービス営業本部  
京都支社 京都MA営業部  
MA1グループ  
松延 史朗

### お客様と一緒に社内浸透活動 (九州統括センター)

2020年育児休暇復帰後にSDGsを知り、お客様との接点活動(架電)において、共通言語になることを体感しました。現在はSDGsの社内浸透の促進に注力しています。社内のSDGsの活動に積極的に参加し、等身大の姿を社員にも共有しています。また、社内浸透に苦慮されているお客様と連携し、「かごしまSDGsワーキンググループ(仮称)」を結成しました。社内で実践した取り組みの紹介や外発的な活動を通じて、新たな一歩につなげていきます。



ワーキンググループでゴミ拾いイベント。参加者からは「明るい未来を想像し、より一層会社を好きになった」との声をいただきました



デジタルサービス営業本部  
九州統括センター  
九州インサイド営業部  
インサイド3グループ  
坂田 菜美

### ワークショップ「MyESG/SDGs宣言」(本社事業所)

SDGsキーパーソンが本社事業所の社員に、自分の担当するWork(業務)とSDGs/ESGのつながりを考えるとともに、自分のLove(好きなこと)から社会課題を考え、視野を広げるワークショップを実施しました。参加した社員からは「自身の業務の目的を見失いがちだったが、ESGに当てはめて言語化することで、仕事に誇りを持てるようになった」との声があり、SDGsやESGの理解が深まりました。



左側はWork、右側は自分のLoveに関することを書いて宣言



デジタルサイネージで宣言カードが流れている様子

## 社内での活動

全国の支社・事業所が地域色豊かなアイデアで、SDGs/ESGの取り組みを行っています。  
社員一人ひとりの意識改革を促し、持続可能な社会の実現に向けて歩みを進めています。

### 環境に配慮した地域とつながるオフィス (京都支社)

京都支社は、これまで3拠点に分かれていた事務所を統合し、「Connected」をコンセプトにオフィスをリニューアルしました。温湿度と照度、CO<sub>2</sub>濃度などを計測可能な環境センサーを設置したほか、空調デマンドコントロールシステムの導入によって使用エネルギーを可視化し省エネを図っています。また、ミーティングスペースには、倒木や流木を加工したオリジナル什器を設置するなど資源の有効活用にも取り組み、社員の環境意識向上につなげています。



地元の工務店に依頼し、オリジナル什器を制作。材料となる木材は京都のお寺に倒れていたヒノキを採用しています

### 学生と一緒に! ファミリーデー開催 (広島支社)

広島支社は、2023年8月に「こども参観日 FAMILY DAY」を開催。14組41名の家族が参加し、名刺交換やコピー機の仕組み学習、360度カメラ、オリジナル恐竜づくりなどを体験しました。このイベントは、社員の家族に職場を理解してもらい、ワークライフ・マネジメントを推進する目的で開催しています。子どもが親の仕事に触れることで、職業観の醸成にも貢献します。今回は、インターンシップの学生に運営を体験いただき、企業の取り組みを紹介しました。



子どもたちは、真剣な表情で各コーナーのミッションをクリアし、最後に笑顔で記念撮影をしました

### RFID\*を活用したSDGsコンテンツのご紹介 (本町橋事業所)

大阪市本町橋事業所のリニューアルに伴い、不要になった来客受付カウンターの木材を再利用してRFID投影用の什器を作成。什器にRFIDタグ付き木製フレームを差し込むと、大型スクリーンにSDGsに関するコンテンツが投影されます。お客様の興味を引く効果的なツールとして、SDGsへの取り組みをご紹介します。お客様からは「SDGsへの関心が高まりました」とのお声をいただいています。



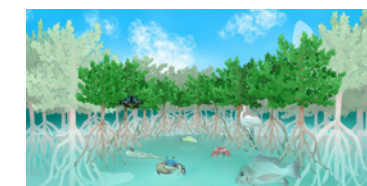
木製のフレームを差し込むと映像が流れる、RFIDを利用した仕組みを採用。デジタルとアナログを融合した新しいデジタルコンテンツです



\*RFID: 電波を用いてICタグの情報を非接触で読み書きする自動認識技術

### お客様と取り組む植林活動が見える化 (和歌山支社)

リコージャパン初の『ZEB』\* 認証を取得した和歌山支社では、マングローブ植林活動の取り組みが見える化し、社員の意識向上につなげています。社員が描いたイラスト「植林活動を通じて目指すミライ」は、植林活動が6つのSDGsゴールにつながっていく様子を表しています。このイラストをサインージュに投影し、植林対象の複合機販売台数に応じてイラストが完成に近づく仕組みを構築。お客様とともにSDGsへの貢献に取り組んでいます。



マングローブ植林活動でSDGs目標 1 2 11 13 14 15 に貢献。植林によるCO<sub>2</sub>削減量を可視化し、複合機導入のお客様に「植林報告書」をお渡ししています



\*『ZEB』: 省エネと創エネにより、年間の一次エネルギー消費量の削減を100%以上とした建築物のこと

## お客様とともに

リコージャパンは、事業とSDGs/ESGを同軸と捉えてさまざまな取り組みを推進しています。社内実践のご紹介など、お客様の取り組みを支援する活動を全国で行っています。

### お客様の未来価値づくりを共創 (三重支社)

三重支社では、フェアやセミナーイベントにお越しいただいたお客様へ「RICOHサステナ見える化ツール」を活用し、お客様の事業をESG視点で見直すお手伝いをしています。ヒアリングシートにより、お客様のSDGs/ESGの取り組みを顕在化し、今後取り組むことを明確にします。お客様に伴走し、一緒に成長していくことが目的であり、お客様からは未来の課題を言葉にいただけるようになりました。



お客様の「RICOHサステナ見える化ツール」のご回答から未来課題を仮説提案としてまとめ上げ、ビジネスチャンスとリスク低減になる取り組みを共創し達成まで伴走します

### 課題解決のヒントをつかむSDGs研究会 (大阪支社)

SDGs研究会は全5回のプログラムを通して、①SDGsへの理解を深める②自社の取り組みを見直す③参加者同士の研鑽の場の提供、を目的としたお客様向け研究会です。セミナーや討議などを通して知識を深め、情報や意見を交換することで課題解決のヒントにつなげることができます。リコージャパンは研究会や取り組み度合いに合わせた実践事例の紹介を通じて、お客様のSDGsの取り組みに伴走支援いたします。



研究会では、参加したお客様からESGシートに沿った各社の今後の取り組みについて発表いただけます

### 金融機関と連携したSDGs推進支援 (山形支社)

荘内銀行様とリコージャパンは、地域企業のSDGs経営の推進を目的として、2023年に連携協定を締結し、本業やESGの視点でDX・GX・働き方などさまざまな課題を事業者とともに考え、協働によるオーダーメイド型のコンサルティングを提供しています。2023年11月には荘内銀行様が主催する「次世代経営塾」においてSDGs/ESGワークショップをリコージャパンが担当し、参加企業のサステナビリティ戦略の基礎固めを支援しました。



荘内銀行様主催「次世代経営塾」でのSDGs/ESGワークショップの様子

### 脱炭素のワークショップ研修を開催 (西東京支社)

パートナー企業の株式会社ムサシ様において、カードゲーム研修「2050カーボンニュートラル」を開催しました。この研修では、政府やNPO、各業種のチームに分かれ、カードゲームを通じて各々の事業目標達成とカーボンニュートラル実現を両立する大切さを学びます。ムサシ様の藤本社長は「これからは私たちにも社会課題の解決が求められる時代。SDGsやカーボンニュートラルの本質を正しく理解し、お客様提案につなげるきっかけになった」と話されました。



カードゲームを通じて事業活動とCO<sub>2</sub>排出量の変動を疑似体験し、脱炭素の重要性を自分事として捉える機会となりました

## 地域社会とともに

リコージャパンはSDGsの目標達成に貢献するため、行政や企業、各種団体、市民の方々と多様なパートナーシップを結び、地域活性化に向けた最適なソリューションを提案しています。

### 産学官とのパートナーシップ連携 (山梨支社)

山梨支社は甲府市と「SDGsの推進に関する連携協定」を締結。産学官連携による取り組みを推進し、SDGsの機運醸成・企業等と若者の交流・SDGsに取り組む地域企業の魅力を発信する機会につなげています。若者・地域・企業がSDGsに取り組む意義や重要性を実感し、SDGsを自分事として捉えアクションへとつなげる「若者によるSDGs普及啓発事業」では、市内大学の学生と『SDGs推進レポート集作成事業』『SDGs普及啓発プログラム構築事業』を実施しています。



SDGsの推進に関する連携協定の締結式  
(右から甲府市 樋口 雄一 市長、  
リコージャパン 山梨支社長 田中 弘輝)

### 秋田創生! 企業と学生をつなぐ架け橋 (秋田支社)

秋田支社は秋田大学と地域連携ゼミに関する協定を締結し、学生とともに地域の課題である「若者の秋田定着」と「労働力確保」に取り組みました。その成果は「RICOH Value Presentation 2023 AKITA」で学生によって発表され、来場者から高い評価を受けました。今後も秋田の未来創造に向けてさらなる共創を進めていきます。



VPre2023 in AKITAブースの様子  
SDGs 8 11 17 に貢献します!

### 障がい者施設様とのイベントを共催 (奈良支社)

奈良支社ではたんぽぽの家様と共催で、障がいの有無に関わらず誰もが参加できる、街歩きフォト撮影イベント「世間遺産@奈良」を2023年12月に開催しました。世間遺産とは、有名な場所ではないけれど、未来の世代に残しておきたい「人・もの・風景」のこと。カメラを通して、新たな奈良の魅力を発見しました。撮影した写真はリコーの複合機で印刷してプレゼントし、参加者の皆さんに喜んでいただきました。



生憎の天気でしたが、普段着目しない地元の魅力に気付くことができ、子どもたちも夢中で撮影していました

### 地域のお客さまと広げる社会貢献の輪 (和歌山支社)

和歌山支社は、「福祉×アート×観光」をテーマとした「白良浜deひらひらTシャツアート展(白浜町)」に2021年から参画。本イベントは、誰もが笑顔になれる社会課題解決を目指しており、地元企業と福祉施設が手掛けたTシャツが砂浜になびきます。和歌山支社は、営業力を活かしたイベント告知活動やゲームプリンターを使用したワークショップなどで協賛。地域のお客さまと連携し社会貢献に取り組んでいます。



騒いでも走ってもOKな自然の美術館。  
車いすの方も楽しめるよう、砂浜にはマットも敷いています



お問い合わせ先

**リコージャパン株式会社**

経営企画本部 ESGセンター ESG推進部

〒105-8503 東京都港区芝 3-8-2 芝公園ファーストビル

<https://www.ricoh.co.jp/sales/about/>

QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。

その他、このレポートに記載の会社名および製品名は、それぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

## SDGsコミュニケーションブック 2024



### ●表紙イラスト

パラリンアート® (障がい者アート)

作品名: AI・DXと豊かで温かな未来

作者名: 麦ごはん

作者コメント: 人とかかわりや自然とかかわりがあり、調和しながら、人とロボットが助け合い働く様子をイメージしました。笑顔が多い豊かなAI・DXの社会があったらいいな、と思い描いています。

リコージャパンは(一社)障がい者自立推進機構のプラチナパートナーです。

## サステナビリティレポート 2024



私たちの活動詳細をWebサイトでご紹介しています。ぜひご覧ください。

<https://www.ricoh.co.jp/sales/about/sustainability/report/>

